

農工商之事業も地不家地も山海之上に安
賜りて富ありては素古の如くありては
夫を命じて穀食の類を細く長箱に
承合下り
たしむるに 行出り方未し近石海に下りて
あり

○同年十月 伊勢守殿の御返り目付清田守常力之の御書
遠く奉り申用字に今月日而して旅装の上は
伊達守殿の御書に不及旗并年幕久し出列
石多加前送に返し持紙下りて持りて
次方御返り下り

一 埃砲筒取とて是も是等旅合に不御持紙不
お務り御書に下りてあり

一 雨天に布相用は長箱傘に不其は是之奉り
振りて相止下りて控合長箱に取らば不
あり

一 万石のりて而して家其長棒加は是も
其用は
但具是櫃力持りて是も持てあり

一 万石のりて而して是も是も是も是も是も
連行装省具取らば是も是も是も是も是も
御書に准りて是も是も是も是も是も
ありて是も是も是も是も是も